

私たちの持続可能な未来

# WELCOME TO KAGAWA-UNIV.



# WELCOME TO KAGAWA-UNIV.



香川大学



空色ポスト 14



CAMPUS TREASURE 18



屋島山上ちようちんカフェ 15



大学祭 10



研究者紹介 22



D&Iフェスタ2022 8



OB紹介 16



ほうきの会 ブルーム・ネクスト 13

わたしたちの持続可能な

# チカラ

地域に根ざし、地域と共にあり続ける  
チカラを合わせ持続可能な地方分散型

香川大学。今、私たちは教員、職員、学生が  
社会の実現に取り組んでいます。



さぬきSWITCH! 12



Next Innovation 24



さぬきSWITCH! 12



新たな屋島のお土産開発 15



学長・知事対談 02



空色ポスト 14



SPECIAL CONVERSATION  
with IKEDA TOYOHITO  
and KAKEHI YOSHIYUKI.

# 対



香川大学長 KAKEHI YOSHIYUKI

寛 善行



CONVERSATION



香川県知事 IKEDA TOYOHITO

池田豊人

# 談

「住みたくなる香川」を実現するために

## 香川の内向きマインドを変えた2つの要因

**寛** 知事は高校まで香川におられた後、42年間東京でご活躍されてこちらへ戻ってこられました。遠くからどんな風に香川を見ておられましたか。

**池田** 私の高校時代には、岡山へ出るには連絡船しかありませんでした。しかし霧が出ると欠航してしまうため、すごく閉鎖的なマインドになりがちだったように思います。瀬戸大橋ができる前は、高松での全国的な会合は敬遠されていたんですよ。それで失っていたビジネスチャンスはかなりのあったと思います。橋ができたことよって大きく変わったと思います。

**寛** さらに今は四国新幹線の話があったり、デジタルの力で空間の壁を乗り越える時代が来ています。新型コロナウイルスの影響で、四国内にもテレワークでかなりの人がやって来ているので、内向きの感覚は少しずつ変わってくるかも知れません。

**池田** そうですね。瀬戸大橋が開かれた四国が、デジタルでもう一度解放される時代を迎えるというのは、私も同感です。

幸せに感じる人を  
増やせば

## 産業は二次的に 増えてくる

### 来たるべき南海トラフ 地震に備えて

**覚** 四国では今しきりに、南海トラフ地震がそろそろ来ると言われています。香川県は四国の他の3県と比べると、災害時の支援拠点としての役割が重要。また地震では物が壊れるだけでなく電気インフラが崩壊し、スマホなど様々な電気通信機器が使えなくなる恐れがあります。香川大でも学内で防災危機管理の研究を進めていて、電気インフラ喪失の研究も進めようとしているところですが、この地震についてどうお考えですか。

**池田** 香川県は後方の復興支援拠点としての役割が求められてい



ます。

**覚** 私は丸亀町の取組が好事例だと思えますよ。車を閉め出し、歩く空間にしているのは、画期的な試みですよ。人中心の街づくりは、人間に非常に良い効果がある。

**池田** 住んでいる人もきれいな街になると、気持ちもリフレッシュしますよね。良い発想が浮かんだら、テンションが上がる。

**覚** AIやロボットが普及すると、人間はあまり働かなくてよくなると言われていますが、そうなったとき、残った時間を歩いて楽しむことができる空間がたくさんある土地ほど、競争に勝てるのではないのでしょうか。香川県はアイト県として大分定着してきましたが、アイトというのは時間が余っ

ますので、空港や港は現在あるものをベースに、他県へ香川県から助けに行くための準備が急がれています。また地震で大きく揺れない香川県は、市民レベルでの危機感を保つのが難しい。そこで危機感共有のきっかけにしたいのが、最近増えてきた高層マンションです。高層階は軽い地震でも結構揺れるので、まず高層階の方をターゲットに家具の転倒防止などの地震対策をしていただき、そこから地震へ備える意識を高めていければと思っています。

**覚** 香川大でも学生や院生への防災危機管理教育を進めていて、創造工学部には「防災・危機管理コース」があります。市民の方々にも「防災士養成講座」で、防災士

た人間にとって「飯のように大事になつてくる。県内どこへ行ってもアイト的な感覚を感じるような方向へ、ぜひ進んでいただきたいですね。

**池田** 私は香川県に産業をもっと誘致しようとしているんですが、「そのためには、アイトを大事にしたい方がいい」と言われたことがあります。企業が場所を選ぶ時に「アイトな香川県に立地する」というのは、企業ブランドを高めるうえに、働く人も移住したくなるというダブルの効果がある。

**覚** 単に企業を誘致したり工場を建てたりしたら街が潤うというのは前近代的な発想で、まずは幸せに感じる人を増やすと、産業は二次的に増えてくるかと。男木島や女木島に20〜30代の若い人たちが移住してきているのも、これが関係あるのかもしれないですね。そこはユニークな視点で、ぜひ取り組んでいただきたいですね。

**池田** 先ほどの話にもありましたが、デジタルがもたらす多様性によっても、島の生き方・暮らし方が可能に

や危機感を共有できる人を増やそうとしています。また林町の創造工学部キャンパスには、実際に地震体験をしていただけるシミュレータがあります。こちらも時代に合わせ、VRでできるような物を作



なって、そういう選択ができるようになったのではないのでしょうか。

**覚** 移住者の方は、退屈じゃない島の過ごし方というのを自分たちで作りはじめています。今は日本全国にそういう芽が出てきていますから、そういうものを香川県は大事にしていくべきですね。

**池田** やはり香川県は、瀬戸内の島が大きな魅力です。香川県には有人島が24ありますが、その多くが高齢化しています。この財産を守るために、24の有人島を有人島のまま残したい。祭や施設のメンテナンスなども、高齢化するとできなくなってくるため、香川本土の人が定期的に出かけて行って、色々なことで交流しながら役に立てるようにならないかなと。そういうことをやっつけば、寂しくて心細いというのが大分変わってくるのではないかと思います。

**覚** 住民票にも意味がなくなり、マイナンバーカード1つでよくな

る必要がありますね。

### 県外にアピールできる 香川のチャームポイント

**覚** 知事公約の「みんなが住みたい香川県」というのは私も大賛成で、他県の人から香川県に住みたいと思ってもらわないといけない。防災や教育、医療の充実も大きな魅力でしょうね。

**池田** 韓国から何度も香川県を訪れているお客さんにその理由を聞きました。するとまず瀬戸内海の美しさ、街もきれいで交通の便も良いことだそうです。これは「住みたくなる」という視点と同じで、特に「街がきれい」というのは、公共的な空間が洗練されているかどうかにか大きく左右されるのでは。そうすると拠点をいくつも持つことになると思えます。香川県も日本も多極分散しないと生き残れません。香川大は県内出身の学生は3割しかいません。また地元の高校生の8割は県外に行ってしまう。しかし、それをどうこう言う時代ではもはやなく、複数拠点を رفتり来たりする時代が来るのではないのでしょうか。知事がおっしゃったように、過疎が進んでいる有人島や、場合によれば無人島も活用の仕方次第で生き返るかもしれません。そして香川県が拠点の一つに選ばれるために、地域の魅力アップと活性化は必須だと思います。香川大は産官学連携を強化して、「価値創造型」人材の育成にチカラを入れていきたい。



# DIVERSITY &



いまとこれから、大学ができる

# INCLUSION

“インクルージョン”は何か？



# FRONTLINE

SPECIAL CONVERSATION  
with IKEDA TOYOHITO  
and KAKEHI YOSHIYUKI.

## 人生100年時代のフロンティア



デジタル技術で伸ばせる  
社会貢献寿命

覚 これから高齢者が増えていく中で、少ない若者はマルチプルレイヤーみたいな八面六臂の活躍をしなければいけなくなります。文系だからAIのことは分かりませんが、というのは通用しなくなるでしょうね。



池田 私の子どもは海外に住んでいます。今は映像付きで無料の何時間でも話せるので、あまりいなくなった気がしないんです。この様なデジタルの部分が、これまでできなかったことを色々とできるようにしてくれる。障がい者の方がベッドに寝たまま仕事ができるようになったり。



ワーアシストで力仕事ができるようになったり。そうやって社会貢献寿命が伸ばせると、それが社会にとつての活力を産むことになり。ます。

覚 実際はそれが一番幸せなんじゃないかな。香川県に来たら、みんな生き生きして、何か仕事しているっていうのが。

池田 そうなのが「人生100年時代のフロンティア」じゃないかと思えますね。

高齢者の方だけでなくキャリアアップやキャリアエンジンを目指す社会人や主婦の方など幅広い世代の方も増えて、多世代がともに学ぶ場となつてきています。

産業と観光の両輪が導く  
香川県の未来

池田 直島は自分の描く未来像にすごく近いです。あそこは美術館で有名ですが、三菱マテリアルがあるので船便も多く安定している。観光面でも渡航するのに便利で、受け入れのキャパシティも増えています。2つがうまく両輪になっているんです。香川県も今後、そういう産業と観光の両輪をうまく回す県を目指していきたい。風光明媚で災害も少なく晴れの日が多い、瀬戸内海という地の利を活かしながら、両輪で伸びていくんじゃないかと思えます。

覚 そこに香川大もぜひ加わりたいです。企業と大学の垣根は以前ほど高くなく、県内の企業と共同で仕事をすることが増えています。産業と観光の発展した未来のために、自治体や産業界、地域コミュニティと協働して地域の活性化と魅力化に貢献していきたいと思えます。





## 宣言から1年を迎えた 香川大学ができること

香川大学 副理事  
ダイバーシティ推進室  
室長 法学部教授  
柴田 潤子



香川大学  
ダイバーシティ推進室  
コーディネーター・特命講師  
黒澤 あずさ



# D&I Festa 2022

### フェスタ開催の きっかけと目的

柴田「このフェスタは2021年10月に、香川大が「D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）推進宣言」をしてから1周年を節目に、開催した啓発イベントです。2022年4月にダイバーシティ推進室が発足して、その後学内で、D&Iに関するアンケートを採りましたが、関心は高いものの分野によって認知度かなりばらつきがあることが分かりました。そこで、学生教職員の理解をより深めてもらうと共に、推進室の広報も兼ねて、このイベントを開催することにしました。」

### イベントの手応えと 今後の展望

柴田「フェスタではセミナーやランチトークなど啓発活動につながるイベントを各種開催しましたが、中でも注目度が高かったのがトランスジェンダーの方のセミナーで

す。当事者から直接お話を聞けるということ、とてもインパクトがあり、学生も多数参加していました。また共感することが多かったのか、セミナー後も多くの質問が寄せられていました。第2部のパネルディスカッションに、パネリストとして農学研究科と教育学部の学生に参加していただいた点も良かったと思います。黒澤「メタバースを使ったトークイベントも行いました。匿名での参加が可能で、今回のテーマには適していると思いました。また、香川大は分散キャンパスで各キャンパス間の距離が離れていますが、メタバースであればそれも関係なく開催できました。」

柴田「今回のフェスタは、推進室とバリアフリー支援室、保健管理センター、インターナショナルオフィスが協働して実施しました。今後も、車椅子体験やグローバルカフェでのイベントと連携できたらと考えています。黒澤「他にも、デジタルスタンプラリーを行いました。D&Iに関する学内スポットを巡ると、D&Iのロゴの入ったオリジナルエコバッグがもらえる企画です。ロゴやバッグのデザインは、創造工学部の学生が担当、アプリも開発科

### D&Iスポットを巡る デジタルスタンプラリー

スタンプラリーのチェックポイントは、どの学部でも参加しやすいよう、幸町キャンパス、農学部キャンパス、医学部キャンパス、林町キャンパスそれぞれに設置されました。多くの学生・教職員が参加しエコバッグを手に入れました。



エコバッグ  
Get!!

学研究科の学生に作ってもらいました。このバッグがきっかけで、D&Iが多くの人の目に触れることを期待しています。柴田「D&Iとは、多様性をみんなが認め合い受け入れて誰もが自分らしく活躍できるようにすることです。今回のフェスタは初の試みでしたが、D&Iについて関心を持っている学生も多いと感じました。そうした学生と共に私たちが一緒に考え、学生主体の取組に繋がればと思っています。」

## トークを通じて、 お互いの多様性を 再認識する



### D&I ランチトーク



香川大学法学部教授  
平野 美紀

2022年10月に幸町キャンパスにオープンした「D&Iスペース」。そのお披露目を兼ねて「D&Iランチトーク」を行いました。1回目のテーマは「ワークライフバランス」。企画総務部篠原正行次長と教職員で、それぞれワークライフバランスについてどのように捉えているか、仕事とプライベートの切り替えをどのようにしているかなどをさくくばらんに話し合いました。2回目は「性的同意」をテーマに、法学部平野美紀教授によるレクチャーのもと、学生トークイベントを開催しました。どちらも多くの参加者が集まり、活発な意見交換がなされました。特に「性的同意」については、普段親しい間柄でも触れることが少ないテーマですが、参加者は積極的にディスカッションしていました。それを平野教授が「性的同意を伝えられる、拒否できる関係性をどう作るのか」といった問いかけや法律の知識も交えたサポート。学生同士でも考え方に多様性があることを学ぶ機会になりました。

### ピア・ サポート

#### INTERVIEW

香川大学のバリアフリー支援室では、障がいのある学生の支援を学生が担当する「ピア・サポート」を行っています。実際にピア・サポーターをされている長谷川さんにお話を伺いました。



バリアフリー  
支援室について

将来、特別支援教育に携わりたいと思い「ピア・サポーター」に応募しました。実際にどうサポートするかにも興味があり、自分が先生になった時のためにそれを体験すること、いろんな引き出しを増やせるのではと思いました。私が担当しているのは聴覚障がいのある学生への2つのサポートです。その一つが「パソコンノートテイク」。聴覚障がいのある学生はオンライン授業のとき、先生の話を音声認識アプリで文字起こししています。私はその際の誤変換部分を手動で修正します。担当している授業は週1コマですがライブ配信なので、トラブルが起きた場合で



香川大学 教育学部学校教育教員養成課程4年  
香川県立丸亀城西高等学校出身  
長谷川 凛乃

もチャットで状況を伝えることができ、担当している学生に喜ばれています。もう一つは、授業で使用する動画の字幕付け。字幕が必要な動画を先生から受け取り、字幕を仕上げます。より分かりやすい字幕にするために、無音の状態を確認するよう心がけています。支援が必要な方ごとに、求められるサポートは変わります。「ピア・サポーター」は必要に応じて車椅子移動支援やキャンパス内のバリアフリーの点検など、様々な活動を行っています。またバリアフリー支援室では「アクセシビリティリーダー（2級）認定資格の取得も推進しており、個人の多様性を良く理解し、社会参加を支援する人材として毎年多くのサポーターが資格を取得しています。」



# Data Science Symposium

データサイエンスシンポジウム

データサイエンスが拓く明るい未来



INTERVIEW

近年注目されているデータサイエンス。香川大学祭2022企画として、中・高生向けシンポジウム「地域イノベーションの創出×データサイエンスって何?」が開催されました。発案・企画された藤本理事・副学長と吉田副学長にお話を伺いました。



「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。



香川大学 理事・副学長(非常勤)  
(内部統制・ダイバーシティ推進担当)・弁護士  
藤本 智子

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。



香川大学 副学長  
(危機管理・学術・特命担当)  
吉田 秀典

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。

その原因の1つになっているのが「女性性は理系に向いていない」という思い込みから、高校で文系を選択していることです。



大学祭 2022



集めた大きな「<sup>かがやき</sup>耀」、高く耀く未来へ



INTERVIEW

3年ぶりに地域の方も来場できる香川大学祭。コロナ禍で様々な制約がある中、大成功に導いたサークル連合H.O.P.の代表 西内さんにお話を伺いました。

# 第74回香川大学祭2022



キャンパスコレクション2022  
大学祭で最も盛り上がったのがこのイベント。事前にライブ配信でアピールするなど、今時の工夫も。

歴史ある香川大学祭を未来につなげたいという熱い思いで、大学祭はコロナ禍でもオンライン大学祭などで受け継がれてきました。今回は規模が大きくなることに加え、私が従来から大学祭未経験者であることから、今までは違ったアプローチで行いました。今回のテーマは「<sup>かがやき</sup>耀」です。学生同士のみならず、地域の方との交流から、気づきや学びという大切な光を集めて「一つの大きな耀を生み出したい」という思いと、「ともに高く耀く未来に向かって歩いて行こう」という思いが込められています。新たな取り組みとして、学生へのアンケート実施で、野外ステージや芸能人の招待など、香川大生が「今」やりたいことを詰め込みました。また、人気の高いミスター&ミスカンパスコレクションはD&Iを意識し、外見のみにとらわれないキャンパスコレクションとして開催しました。



香川大学  
教育学部学校教育教員養成課程3年  
私立土佐女子高等学校  
サークル連合H.O.P.  
14代代表  
西内 愛育

私が個人的に注目していた作品展示「アンブレラスカイ」では、たくさんさんのレインボーカラーの傘を空に浮かべることで「耀」とD&Iが表現されました。この展示は、SNSや香川大のフォトコンテストでも人気を博しました。感染対策では、入場許可者にリストバンドを付けるなど工夫しました。特に、食品提供の感染対策として導入したキッチンカーは好評でした。苦勞したことも多くありましたが、たくさんの方のご協力のもと開催できたことや開催後に寄せられたメッセージを見て、この上ない達成感を味わうことができました。今後も後輩たちには、学生の力で香川大学祭を盛り上げていって欲しいと思います。

## 地域に根ざした

NHK高松  
×  
香川大学生



学生と一緒に

香川の未来を考える番組

2022年の10月と11月に、NHK高松と香川大がコラボした企画「さぬきSWITCH!」がNHK「ゆう6かがわ」で放送されました。学生の地域活性化の取組を発信したいと考えていた香川大と、番組を通じて地域貢献したいと考えていたNHK高松、双方の想いが合致して生まれた「香川をサス

さぬきSWITCH!  
Team-A

テナブルな未来へと、SWITCH! していくためのヒントを学生の目線から考える「ミニ番組です。学部を越えて集まった学生たちとNHK高松のスタッフでディスカッションして地域課題を考え、テーマ検討。さらに取材先との交渉、事前取材、撮影同行やインタビューも実施しました。番組ではナレーションを務め、スタジオにも生出演。新しい地域活性化の取組として注目を集めました。

学生の視点で地域の問題を考える



学生が選んだ2つの  
テーマで番組を制作

学生はテーマごとにA・Bの2チームに分かれて制作しました。Aチームのテーマは「地域活性化」で、まんのう町の耕作放棄地を再生して蕎麦を作っている方々を取材。「地域活性化には、昔のものを甦らせることも大切だと知った」と小谷さん。亀川さんは「若者が体験参加することで、地域の方々が笑顔になつたのが印象的だったそうです。Bチームは「地域農業を元気に」をテーマに、地域の生産者から直接



さぬきSWITCH!  
Team-B

野菜を仕入れている青果店を取材。榎本さんは「販売者が野菜を選ぶ際に、キズがあっても味が良いものを仕入れるというこだわりを知り、とても印象的だった」そうです。番組制作を通して、日笠さんは「とても貴重な経験だった。企画作りには多くの方が携わり、どう伝えればより良いものになるのか試行錯誤していることが分かった。今後、私が所属する学生団体でも取材の構成やマナーなどに活かしていきたい」と振り返ります。数々の反響があった今回の番組は、学生が地域を考える場にもなりました。継続取材が予定されるなど、NHK高松と学生たちの新たな取組が進行中です。



さぬきSWITCH!  
詳細はこちら

- 左から
- NHK高松放送局カメラマン 相良アンナ
  - 香川大学経済学部経済学科2年 香川県立三木高等学校出身 日笠綾音
  - 香川大学経済学部経済学科1年 和歌山県立向陽高等学校出身 榎本祐大
  - NHK高松放送局ディレクター 長川優基
  - 香川大学医学部看護学科4年 香川県立高松高等学校出身 小谷茂々笑
  - 香川大学経済学部経済学科2年 岡山県立玉島高等学校出身 亀川哲

## ほうきの会 × ブルーム・ネクスト



地域の方々と大学を繋ぐ清掃ボランティア活動

一人の善意から始まった  
美化活動の広がり

毎週火曜日の朝7時半から、香川大学周辺の歩道を清掃していただいている方々を「存じますか。その団体は「香川大学環境美化支援の会・ほうきの会」。地域の方から大学の教職員学生まで、様々な方が参加するボランティア団体です。活動は、「近所にお住まいの牟禮さんの何気ない行動から始まりました。

ある日、日課のウォーキングで大学前を通りかかった牟禮さんは、道路に散乱したゴミを見かね、大学からほうきを借りて一人で掃除を行いました。その日以降も掃除活動を続けていくと、それを見た地域の方や大学教職員学生が徐々に参加するようになり、火曜朝の清掃が定着。この活動は20年を経た現在も続いていて、近隣の公園など、サンポートの清掃活動などにも広がっています。

大学構内を花で彩る  
学生サークル

この清掃活動に共感した学生有志が立ち上げたのが「ブルーム・ネクスト」。そのきっかけは、コロナ禍で人と出会う機会が減り寂しく感じていた中、偶然参加したほうきの会での清掃活動でした。普段の学生生活では体験できなかった地域の方との交流に魅力を感じ、それがきっかけとなり学生主体のボランティアサークルが発足しました。名前には、「bloom(ほうき)」と「bloom(花が咲く)」の2つの意味が込められています。

ブルーム・ネクストは、朝の清掃活動では、集めたゴミの処分など活動を支える裏方としても活躍。さらに正門前の花壇やプランターに花を植えたり、冬には学内でイルミネーションを点灯するなど、学内緑化・美化活動を続けています。お話を伺った学生の大家さんと山田さんによると、花の購入費を大学と交渉したり、夏休みの水やりなど苦勞も多い中、花やイルミネーションを眺めたり写真を撮ったりしている人たちを見かけるたびに、喜びを感じているそうです。牟禮さんから始まった活動は、学生にも受け継がれ、新たな花を咲かせています。



コロナ禍で失われた人との関わりを、ほうきの会が繋いでくれました。

- 前列/ほうきの会代表 牟禮絲津子(しづこ)
- 後列左/ほうきの会 香川大学研究戦略室特命准教授 玉川晋二郎
- 後列中/ブルーム・ネクスト 香川大学教育学部学校教育教員養成課程3年 愛媛県立今治東中等教育学校出身 山田夏希
- 後列右/ブルーム・ネクスト 香川大学法学部法学科3年 姫路市立姫路高校出身 大家観月



2022  
空色ポスト



浮かべる想い、たぐる気持ち 青空に託して



2022年10月下旬から11月上旬にかけて、香川大学医学部附属病院の中庭で「2022空色ポスト」というイベントが開催されました。中庭に浮かべられたのは、色とりどりの風船。それぞれに手紙が結びつけられています。  
このイベントは、附属病院の再開発工事で殺風景になってしまっ

た病院の中庭を、患者さんやご家族の方が安らぐことのできる場所にできないかと考えた職員が、創造工学部造形・メディアデザインコースの大場晴夫教授に依頼したことで始まりました。コロナ禍で、心にぽっかり穴が空いたような気持ちを、病院の中庭の空間が象徴しているように感じた大場教授は、場所を使って人々の想いを繋ぐことができなかと考えました。参考にしたのは、欧米で盛んな「ホスピタルアート」です。これは病院にアーティストを招いて、医療従事者や学生、患者さんも一緒に行うアート活動です。

その活動を元に、造形・メディアデザインコースの学生たちが立ち上げたのが、風船に患者さんたちの想いや希望を託し、中庭の空に浮かべることで気持ちを開放するというプロジェクトです。「空色ポスト」と名付けられたこのイベントには、患者さんだけでなく附属病院の医療従事者も参加。様々な想いがこもった200通以上の手紙が、空へ届けられました。「空色ポスト」は誰にも言えない想いを解放し、心を軽くしてくれる優しいイベント。寄せられた手紙は全て、ホームページ上で公開しています。

患者さんにもご家族の方にも笑顔と元気を!



空色ポストのHPはこちら

屋島山上  
ちようちんカフェ  
新たな屋島の  
お土産開発



伝統工芸と  
地域資源を活かした  
新たな価値を創造

2022年8月下旬、屋島の魅力と香川の伝統工芸品である讃岐提灯をもっと多くの方に知ってもらいたいという思いから始まった「屋島山上ちようちんカフェ」を3年ぶりに開催しました。今年のテーマは「笑顔をとらす」。運営は学生プロジェクト「TERASU」と経済学部の西成研究室の学生が行っています。中心を担ったのは、入学以降コロナ禍でこのイベントを開催できずにいた世代です。中には高校時代にちようちんカフェを体験し、この様なプロジェクトを自分もやりたいと進学した学生もいました。この活動は3年生で引退となるため、3年生が運営に携わることができなのは、今回が初めて最後のチャンスでした。先輩が引退する前に一緒にちようちんカフェを開催したいという後輩たちの思いも乗せて、屋島山上ちようちんカフェ2022は開催されました。事前準備とワークショップをあわせて、制作した提灯は500個を超え、カフェ利用者はのべ1,294名となりました。屋島の夕夜景と共に多くの笑顔と提灯の灯りで照らすことができました。

新たな屋島のお土産開発

創造工学部井藤研究室では地域資源を活かした新たな価値創造を目指して、高松市屋島山上交流拠点施設「やしまーる」の指定管理会社である株式会社イーストと連携して、新たな屋島の土産物開発を行っています。その第1弾として、やしまーるのプレオープンに合わせて、以下の3つのプロジェクトを地元企業3社との協働で実施し、販売を開始しました。販売も好調で第2段に取り掛かっています。



屋島山上ちようちんカフェのHPはこちら



商品開発時の企画プレゼン  
ツジセイ製菓 × 香川大学  
やしまーるの建物の形を模った「やしまーるクッキー」と「やしまーるクランチチョコ」のパッケージデザインを開発



やしまーるのHPはこちら



中商事 × 香川大学  
アップサイクルの考え方で、使わない生地を活用して、「ふるしきエコバッグ」を開発



やしまーる売店での販売



筒井製菓 × 香川大学  
老舗の豆菓子専門店と「やしまめ」をやしまーるオリジナル豆菓子として、新しいロゴやパッケージのデザインを開発

# Message from OB

INTERVIEW

香大祭や新歓祭を運営している「サークル連合H.O.P.」。13年前にH.O.P.を立ち上げ、現在中学校の英語教員をされている久保さんにお話を伺いました。



高松市立龍雲中学校教諭

久保 孝彰

2011年 香川大学教育学部卒業

2019年 香川大学大学院教育学研究科修了

## 大学院の学び直しで 授業に変化

私は現在、中学校で英語を教えています。小学生の時に父の仕事の都合で1年ほどアメリカに住んでいたこともあり、幼少期から英語で話すことができるようになりました。ところが、帰国し中学生になり英語のテストを受けたところ、思うような点数を取ることができませんでした。英語の授業で教わる「書く英語」と私が話す「しゃべる英語」が違っていたことが原因で、もどかしく、何かおかしいとずっと思っていました。そこで、将来は英語の教員になって、話せる英語を生徒に身に着けさせる授業をしたいと思い、香川大に入学し教育学部で勉強に打ち込みました。大学卒業後は念願だった中学校の英語教員として教鞭をとることにりましたが、当時はどのように生徒に伝えればよいかかわからず、がむしゃらに指導しており、何が良かったのか、何が悪かったのか、理論的に分からず悩んでいました。そんな時、母校である香川大で大学院生として再び学ぶチャンスを得たとき、当時香川大におられた齋藤先生と出会いました。

たこと。大学生の時に「通り学んでいました。学ぶことと実践することとはやはり違っており、現場での実践を経験したうえでもう一度学ぶことによって、より理解でき、しっかりと身に着けることができました。大学院で学び直した教育理論をアレンジし、フィードバックを行うことで、私が受けてきた授業とは違う授業ができています。今は本当に授業することが楽しいです。また、ここでの試みを「研究者として論文にするなど、大学院を修了した後も研究活動を続けています。大学の先生とも連携しており、本を共著で出版することもできました。

子供たちに「ここが大事」と気づかせ、それが「使える」と理解させる事が重要だと思います。「使える」と分かれば、より多くのことが出来るようになります。後は自ずと勉強が楽しくなっていくようです。英語の授業が2時間続いたら「やったー」となるくらい英語が好きになるぞと年度の初めに話しています。生徒たちは最初疑いますが、1学期が終わるころには「先生の言うていたことは本当でした」と、(大学院の学び直しから授業のやり方が変わったことで)、英語の授業が好きになる生徒が多くなりました。

History Of Party  
ホップ・ステップ・ジャンプ!で  
歴史を作る団体に

今の教師生活の土台は香川大にあります。大学時代、私はサークル連合H.O.P.を立ち上げました。当時、新入生に対してのサークル勧誘は各サークルが独自に行っていたこともあり、効果的なアピールができていないことが学生の悩みでした。また、大学職員と連携が十分ではなく、学内での飲酒禁止やピラ配りの方法などのルールが徹底されていなかったこともあり、大学側から学生への信頼が失われているように思いました。新入生へのアピールはもちろん、学生の信頼を取り戻したいと考えた私は各サークルから代表者を募り、新歓祭を盛り上げるべくH.O.P.を立ち上げました。各サークルによるイベントをたくさん盛り込んだ新歓祭は、大いに盛り上がり、サークルの活動をしっかりとアピールできたことでサークルの加入率も上がったようです。サークルの力を集めたときのすごさを目の当たりにした瞬間でした。

生徒とともに  
「究極の授業」を

学生時代の経験で、行動力だけでなく、限られた時間でどれだけ楽しませ、集客し、充実させるかという計画力も大切であることを学ぶことができました。この経験は今の仕事でも活かしています。50分の授業の中で、何を教え、練習させて、何をできるようにさせるか、visionを持たせて充実させていくことをいつも大事にしています。また、中学生たちが主役になれるよう支える側になりたいと思っています。

今やりたいことは「究極の授業」です。自分がこれだと思える授業にさらに磨きをかけていきたいと思っています。



H.O.P.代表を務めていた頃の在学中の久保さん。この写真がかがアド10号に掲載されたものです。今回も同じ場所で撮影しました。



# 神原文庫

記録をたどり、貴重な資料の海へ漕ぎ出そう。

## 神原先生の人物像と 神原文庫への思いを ご子孫に伺いました

聞き手  
香川大学教育学部 教授  
守田 逸人

東京都出身。早稲田大学大学院文学研究科史学(日本史)専攻博士後期課程修了。博士(文学)早稲田大学(2007年)。香川大学教育学部准教授を経て、2022年4月より現職。専門は日本中世史、荘園景観の復元研究、中世史科学など。



香川大学初代学長・神原甚造

先生は人格高邁、資性醇厚、事理の弁別にあたっては、つねに明敏透徹の処断を下されつつも、温容の雅量はよく後進を導かれ、学生の育成にもなみなみならぬ熱情をそそがれた。先生は長く法曹の人として、事理の究明に精進せられたが、他面、ゆたかな詩情をもたれ、そのすぐれた詩藻は人々に深い感動をあたえるものが少なくない。

『神原文庫分類目録』序文(昭和39年)より抜粋

神原家は甚造から  
ひ孫まで続く法律一家

神原(神原) 神原甚造のひ孫の神原千郷(ちさと)です。甚造には2人の娘がおり、私は長女の恒子(つねこ)の孫になります。甚造は香川大の学長になる前は裁判官でしたが、祖父、父、私も法律家という家系です。恒子は小さい私に、大好きだった父・甚造の話をよく聞かせてくれました。

守田(守田) 日記にも恒子さんの話が多く出てきますが、恒子さんは神原先生の影響を受けて法律家を志したのででしょうか。

神原(神原) 母とも話したのですが、そのような影響はなさそうです。しかし、私は小さい頃から「あなたは法律家になりなさい」と言われていたので、そういう意味では影響を受けていたかも知れません。

歌人「神原彩翹」として

守田(守田) 神原先生は、若い頃から「明星」に投稿するなど、歌人「神原彩翹」としても名を残されていますね。(短歌①)

神原(神原) 生涯を通して多くの歌を詠んでいますが、記憶に残っているのは1人目の妻のすみ(すみ)が2人の幼い子どもを残して亡くなった後に詠まれた歌です。この歌を色紙に書いてずっと飾っていました。(短歌②)

守田(守田) すみさんを亡くし詠まれた歌は約四百首にものぼります。その歌の数の多さと内容からも当時の悲しみが伝わってきますね。また晩年の短歌には故郷について詠まれたものも多く、郷土愛が感じられます。(短歌③)

木枯は酔ひて踊りて物の怪が鼓にあはすぞめき歌かも  
【短歌④】

今もなほ夢には母の居たまひてをさなき我れの髪なづるなり  
【短歌⑤】

多度津の浜ぬれつつ浪と遊びける其の日は遠き昔となりぬ  
【短歌⑥】

【月刊香川】昭和26年6月号

### 探求心を胸に 貴重な資料の海へ

守田(守田) 神原先生は文庫の収集物や日記からも、好奇心旺盛で几帳面なお人柄が伺えますが、神原(神原) 非常に字が好きだったよ。うなので、テレビもラジオも無い明治の時代、口から出る言葉以外で人と繋がることのできる書籍に興味を持ち、それが神原文庫の収集に繋がったことは想像に難くないですね。

### 初代学長就任に 至る経緯

守田(守田) 神原先生は元々香川の出身ですが、なぜ香川大の初代学長になられたのでしょうか。

神原(神原) 当時の香川県知事・金子正則さんの働きだったと聞いています。金子さんも香川県出身の元裁判官で甚造と同じ、しかも先ほどお話しした恒子の夫も同じ郷里の出の裁判官で、金子さんと一歳違いだから、何か縁があったのかも知れません。また私は司法修習で高松で2年過ごした時に、金子さんを尋ねたのですが、その際に「自分が思い入れを持って学長にした」と言われていた記憶があります。

守田(守田) 学長就任にあたり、強い決意がうかがえる十五首の短歌が四国新聞に掲載されています。



京都寓居書斎(大正3年)

### 初代学長 神原甚造の軌跡

- 1884年(明治17年) 香川県仲多度郡多度津町にて出生
- 1901年(明治34年) 丸亀中学校 卒業
- 1904年(明治37年) 第三高等学校(一部法科) 卒業
- 1908年(明治41年) 京都帝国大学法学部 卒業  
／司法官試補  
／同大学院にて刑法研究
- 1909年(明治42年) すみと結婚
- 1911年(明治44年) 京都地裁判事
- 1912年(明治45年) 京都区裁判所判事
- 1913年(大正2年) 兼京都地裁判事
- 1914年(大正3年) 大阪区裁判事兼大阪地裁判事
- 1918年(大正7年) すみ逝去
- 1919年(大正8年) 京都地裁判事
- 1920年(大正9年) 京都地裁判事
- 1921年(大正10年) 神戸地裁部長  
／京都地裁部長
- 1924年(大正13年) 東京控訴院判事
- 1925年(大正14年) りきと再婚  
／大審院判事
- 1936年(昭和11年) 高等官一等
- 1942年(昭和17年) 勲二等
- 1945年(昭和20年) 大審院判事部長  
／依願免本官  
／従三位
- 1950年(昭和25年) 香川大学長
- 1954年(昭和29年) 逝去



明治41 法衣写真



明治44 恒子さんを抱っこするすみさん



昭和27年 旧学長官舎にてりきさんと

すね(短歌⑦) 神原文庫を今後、どのようにして欲しいですか。

神原(神原) 甚造が集めた物が研究に役立ち、現代の人が何かを見つけてくれるきっかけになれば、とてもうれしいです。私自身、人生を楽しむという意味で、甚造には世代を超えて教えてもらっていますから。

身も魂も大きき使命に新しき力おぼえて起ち上がりつれ  
【短歌⑧】

学長就任にあたり短歌十五首が掲載される(四国新聞)



神原先生のご子孫

弁護士 ちさと  
神原 千郷さん  
神原甚造先生のひ孫。曾祖父と同じく法曹界へ進み、現在は都内の弁護士事務所所属。



算学長の文庫に対する熱い思い

# 文化資産を守ってくれた 収集家たちに思いを馳せる



神原文庫は、神原先生がその生涯をかけて収集された収集物を、先生のご子孫の方から香川大にご寄贈いただいたコレクションです。その量は膨大で、旧蔵図書資料約12,000点、16,560冊（和漢書15,890、洋書670冊）等で構成されており、現在も調査が進んでいます。

明治維新の廃仏毀釈や戦争により、多くの文化資産が破壊・流出し、古くから保管されていた重要な文化財が多く失われました。

その様な状況下で、流出した文化資産を収集する動きがありました。こうした活動は、文化資産の保護に繋がりました。神原先生も収集家として尽力した二人で、収集活動は大審院（現

在の最高裁判所にあたる）の判事を務められていた頃の第二次世界大戦前から第二次世界大戦終戦頃までの大動乱期に活発に行われていたようです。

流出した貴重な文化資産の保護に尽力した神原先生ですが、同じ思いを持っている方と繋がりをもち、情報交換を積極的に行っていたのではないかと思います。今のように便利な通信機器もないので、収集に訪れた現場で偶然出会った人などとネットワークがあったからこそ、収集活動をより効果的に行うことができたのではないのでしょうか。神原先生の収集記録である「古資料収集記録帖」の中に記載があるにもかかわらず、現物が確認できない物も存在します。他に求めていた物入手するために

やむを得ず手放したり、収集家同士でお互いに欲しい物を交換したりしてコレクションを充実させていたかもしれません。

神原先生が個人的に集めた文化資産の量は他の収集家と比較しても驚くほど多く、収集した物の中には非常に価値が高い物も多く見られます。さらに、神原先生は、ただ集めるだけではなく、いつ、どこで、どのように収集したか細かく記録し、文化資産の流出の足取りを追うための手がかりとなる貴重な資料を作成しています。（※）



（※）古資料収集記録帖  
6月14日条には、神原文庫の中でも際立つ「古筆手鑑」の購入が記録されている。



『古筆手鑑』古筆切貼交折帖[江戸後期]編  
伝聖武天皇等宸筆や伝弘法大師など著名人の書などが収められている。

# 神原文庫の資産を 未来へ活かすために

香川大では現在、香川県独立の父である中野武営氏にフォーカスしてデジタルアーカイブを制作する研究が行われています。古い写真や関係資料にメタ情報を付与することで、時間・空間（地理）を軸として様々な切り口でデータにアクセスすることができ、この技術を用いて神原文庫の資料もデジタルアーカイブ化すれば、記録の中に埋もれている人と人の繋がりが見えてくるかもしれません。

文化資産の価値は後世の人によって高めていくことが可能です。今後は21世紀の現代の力を駆使して、神原文庫に新たな価値を付加していかなければなりません。そのためには文理融合であらゆる知恵を絞って取り組まなければいけません。神原先生は、文化資産を集めるだけではなく、生涯を通し

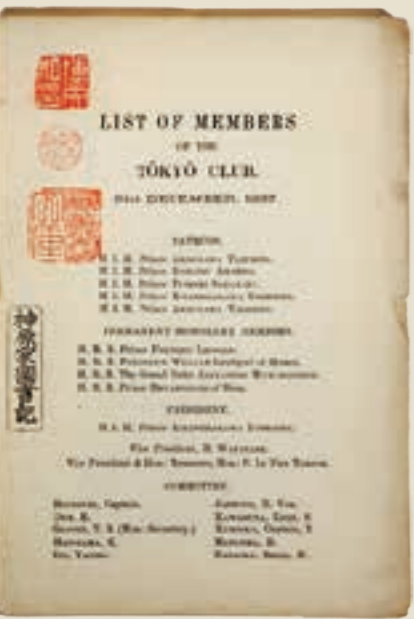
て歌を詠み続けた歌人でした。神原先生が詠まれている和歌からは、時代を問わず全ての人に通じる人間の情を感じ取れます。和歌の解釈は時代によっても変わるかもしれませんが、人の心を揺さぶるものはいつのも代も同じではないでしょうか。神原文庫にも、様々な研究分野からも見出すことができる普遍的な価値が秘められていると思います。

第4次産業革命の時代では、デジタル技術の発達で労働時間として取られていた時間が減り、余った時間をどのように使うかということが重要になってきます。その時間をいかに幸福に過ごすかということが問われてくるでしょう。それを考えるときに、神原先生が判事をされて多忙であった中でも充実した人生を歩まれていたことがヒントになると思います。学生たち

にも神原先生の心の動きや収集物への哲学などを知ること、人生をいかに生きるべきかを考えてほしいと思います。70年前に神原先生を学長に招いた金子知事と、昨秋東京から香川に戻られた池田知事。お二人とも香川県を興したいという思いは同じではないでしょうか。地方移住が推奨されている中で、選ばれる県や選ばれる大学になる必要があります。



『明星』  
明治36年12号～明治40年1号まで、神原彩翹の約百六十首の短歌が掲載。



『LIST OF MEMBERS OF THE TOKYO CLUB.』  
明治初期の東京倶楽部の会員名簿。蔵書印から伊藤博文から岡谷繁実の手にわたり、その後神原先生が入手したものとわかる。



『室町幕府13代将軍足利義輝書状』 年未詳11月16日

# Researcher Introduction

## メタバース技術で人と機械を橋渡しする。



### シミュレータを利用した自動車デバイスの開発支援

私は以前つくば市の日本自動車研究所で、自動車事故の分析や、事故を防ぐデバイスを開発していました。その頃、国土交通省が行っていたのが、ASVという安全運転支援システムの開発プロジェクト。自動ブレーキや車線を逸脱したら警告音を鳴らすシステムです。その普及のためのデータ収集や、規格化に携わりました。実験は実際の車では危険を伴うので、コンピュータを使ったシミュレータを利用していました。

その後、名古屋の大同大から香川大に来たのが13年前。最初は自

### 培ってきたメタバース技術を地域の課題解決に活用

モビリティに関連した研究を続けていたのですが、ある時、学生から「その研究は社会のどんな課題解決に繋がるんですか」と質問されました。この質問が、約25年間積み上げてきた研究からどのような社会貢献が出来るのか考えるきっかけとなりました。その結果たどり着いたのが、メタバース技術を用いた「人と機械の橋渡し」となる研究です。現在進めている研究を5つ紹介します。

1 三豊市と一緒に進めている高齢者へのメタ認知教育。昨今、高齢ドライバーによる交通事故など、加齢による自動車運転の危険性について警鐘が鳴らされています。それに伴い、運転免許の返納についても話題になることが多いですが、特に地方在住の高齢者は運転免許を返納すると買い物や病院に行けなくなるなど生活に支障が出てしまいます。また、長年の運転経験などから自分の運転は大丈夫だと過信している方が多く、運転による危険性の認識が甘い方が多い傾向にあります。そこで高齢者の方に、VR運転シミュレータで自分の運転を多角的に見てもらうことで、認知能力

や運動能力の衰えを客観的な視点で認知してもらいました。すると自分では分かっていなかった危険性が認識できるようになり、運転を補う行動がより早くなるという結果が得られました。

2 交通事故関連の研究では、あいおいッセイ同和損害保険と共同開発している電動キックボードのシミュレータ。電動キックボードは2023年7月の法改正で、免許やヘルメットが不要になるため、10万人当たりの交通事故死者数ワースト上位の香川県では事故の多発が懸念されています。そのため事前に、シミュレータでの運転体験を通じて危険意識を高めてもらい、同時にどこを走れば良いのかなどの運用の問題の洗い出しも行っています。

3 自然災害時の避難シミュレータの開発。天候や時間帯を自由に変わることができるシミュレータで避難体験をすることで、日常では忘れがちな災害への危機意識を高めるなど、効果的な避難に繋がるのではない



4 医学部附属病院を含む香川県内の医療機関と協働で進めている、メタバースを用いて気持ちを穏やかにする研究。精神が不安定な状態の時に子どもの頃聴いていた懐かしい音楽を聴くと気分が安定することが知られています。聴覚情報のほか、視覚情報を組み合わせることで、効果を得ることができないか調査しています。具体的には、自分が子どもの頃の記憶にある懐かしい街の風景をメタバースで再現し、体験することの研究を行っています。

5 父母ヶ浜などの三豊市の観光地や、未来の街並みをメタバースで体験するプロジェクト。設計図や絵だけ分かった都市計画図が、メタバースだと理解しやすいと好評です。

メタバースがより身近になった現在、その技術を用いて地域の課題解決に繋がってきたいと思っています。大学と地域の方、メーカーをメタバースで繋ぐハブとして、これからも研究開発を行います。

### 香川大学 創造工学部 教授 鈴木 桂輔

広島県出身。博士(工学)。日本自動車研究所(JARI)、スウェーデン国立道路交通研究所(VTI)の研究員を経て、2009年10月から香川大学の教員となり、メタバース技術を駆使した地域の課題解決に取り組む。



鈴木桂輔教授のHPはこちら

# Next Innovation

香川大学 研究シーズ活用レポート



研究シーズ活用のご相談は

香川大学産学連携・知的財産センター

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

TEL.087-832-1672 FAX.087-832-1673

本学研究者の研究成果は、HPより確認できます。

<https://www.kagawa-u.ac.jp/faculty/centers/23894/>



## メキシコ駐在が縁で始まったプログラム

私は前職のマツダ(株)で主に研究開発部門に所属していました。その間、のべ13年程海外赴任し、国際戦略車の商品企画や現地法人の経営など自動車関連の仕事をしていました。日本に戻った後は、広島大に特任教授として出向したのですが、そこへメキシコJICAから「日墨戦略的パートナーシッププログラムで、研修生を1人指導してほしい」と連絡を受けました。メキシコは駐在していた国の1つで、現地との関係が非常に強くなっており、スペイン語も話せたので、その縁で頼まれたという背景があります。それで5年前に結局3人のメキシコ人を指導することになりました。

## 日本と中南米を繋ぐ国際ネットワーク

広島大で研究していたのは「イノベーション・エコシステムの形成」。メキシコ人の研究生と一緒に「悩まされていると聞きました。この状況に危機感を持った人たちが立ち上げた「蒼島」というプロジェクトでは、花瓶やお皿、コップ、ドアストッパーなどの従来なかった製品を開発。主にアメリカの美術館などのミュージアムショップを中心に販売されています。また庵治石を混ぜて美しい青色のガラスを作ることに成功した「さぬき庵治硝子」など、調査を通じて新たな商品開発や販路に挑戦している方々に出会うことができました。

メキシコにもプエブラ州という石材の採掘と加工をしている場所があるのですが、メキシコ国内の他産地が軒並み売上を落としている中で、ここだけ急成長を遂げています。こちらは建築に使う床材がメイン商品ですが、販売先がアメリカの富裕層という点で庵治の新機軸事業との共通点がありました。そこでこの研究を通して、香川県だけではなく、庵治町とプエブラ州の2つの石の産地を繋いで、技術者の交流ができないかと考えています。既にプエブラ州の州政府の経済省とも話が進んでいます。近いうちには是非、実現していきたいと思っています。

もう一つ広島大時代から続けているのが「グローバルファーストベ

に日本の産業を調査する上で、私が専門としてきた自動車のような耐久消費材ではなく、広島県の伝統産業である熊野筆を研究テーマとしました。筆を使う文化が衰退する中で、なぜ生き残っているのか。その手法が興味深かったからです。

## 日本とメキシコの石工産業を繋ぐ研究

広島大にはマツダ(株)からの出向で6年いましたが、任期が終了するタイミングで大学での教員を続けたいと、マツダ(株)を早期退職し、ポストの募集があった香川大へ異動してきました。JICAのプログラムとイノベーション・エコシステムの研究は、そのまま継続。熊野筆に代わる香川県ならではの研究テーマを探していたところ、見つけたのが庵治石です。高級墓石の材料として有名な庵治石ですが、需要の減少などにより売れ行きが低迷し、また後継者不足に

ンギンクラブ」です。これは日本と中南米を結んで、起業家教育を一緒にしようという試み。香川大に、メキシコのメキシコ国立自治大、コロンビアのロンビア国立大、ペルーの国立サン・マルコス大、ボリビアの私立サンタクルス工科大が参加し、年に数回オンラインで新たな起業アイデアを提案するピッチイベントを行っています。さらにコロナ禍で中断していますが、スペイン参加の話も進んでいて、実現すれば全スペイン語圏を広く結ぶネットワークができることになるので非常に楽しみです。

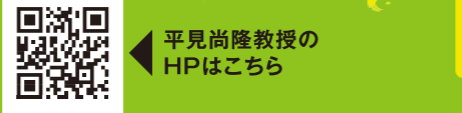
またメキシコからの研修生は、現地の大学の修士課程を修了しているり、一度社会で活躍していた方が多く、その中でプログラミングが得意なメンバーと一緒に、エコシステムの評価プログラムや、起業家支援のボードゲームなどを開発。実際に授業でも活用しています。

さらに三豊市や小豆島の、活性化や移住促進の調査や協力などにも関わっており、マツダ時代に培ったビジネス戦略が役に立っています。今はコロナ禍で停止していますが、海外との交流をさらに進めていきたいです。また、趣味で行っている中南米の野鳥の撮影も続けていきたいと思っています。



香川大学 創造工学部 教授  
平見 尚隆

マツダ(株)やフォードにて主に商品企画領域を担当。ラ米諸国の大学や諸機関との起業家育成関連の活動などを通じネットワークを形成中。ケンブリッジ大学 Ph.D.、中小企業診断士、2021年4月より現職。



平見教授が中南米で撮影した鮮やかな野鳥の写真。腕前はプロ級で、雑誌にも定期的に掲載されています。

平見尚隆教授のHPはこちら



庵治石の新たな可能性を探る  
庵治石の調査チームは実際に産地へ足を運び、石切り場や加工場はもちろん、新たな製品の開発を進めている現場まで、様々な場所で、実際に生産に関わる人たちのインタビューや調査を行っています。



「香川と都市圏の大学連携推進事業  
〜かがわBridgeプロジェクト(KBP)〜」  
シンポジウムを開催しました



令和5年1月17日、香川大学イノベーションデザイン研究所で「香川と都市圏の大学連携推進事業〜かがわBridgeプロジェクト(KBP)〜」シンポジウムを開催しました。香川大学では、都市圏の大学との大学間協定締結により、国内留学制度を活用して、地域の課題解決や活性化に向けた様々な事業を展開してきました。本シンポジウムは、芝浦工業大学・津田塾大学・東京農業大学の各学長をはじめ、池田香川県知事、工代香川県教育委員会教育長をお招きして「明日の日本をデザインする人財の育成」をテーマとして開催し、自治体、県内企業の方々、協定大学の教職員や学生など対面とオンラインで約200名の参加がありました。本シンポジウムを通じて、今後、さらなる本事業の発展に向けて、大学間の連携はもとより、地域の方々とも連携・協力を深めていく必要性を再確認することができました。

地域の魅力の再発見  
「極め付け四国鉄旅〜さぬきの文化探訪〜」を実施



令和4年12月11日、香川大学とJR四国は「極め付け四国鉄旅〜さぬきの文化探訪〜」を実施しました。これは「STEAM Learning」の視点による「地域の魅力の再発見」と「地域に貢献する人材育成」を目的とした両者の共同研究に基づくものです。香川大の教員による「貸切列車内での特別講義」と学生ガイドによる「現地でのまちあるき」を合わせた「学びのツアー」で、今回は、琴平町、多度津町の歴史文化について探求しました。参加者からは「大満足である」、「次回があれば必ず参加したい」などのお声をいただき、大変好評でした。



香川大学支援基金

●ご支援いただいた方は税制上優遇措置が受けられます

ご寄附の方法が選べます

■クレジットカードや振込用紙など寄附方法をお選びいただけます。  
ご利用いただけるクレジットカードの種類は支援基金のホームページをご覧ください。

香川大学から感謝を込めて

■ご寄附いただいた方全員  
ご了承を得て、ご芳名を大学ホームページ等に掲載いたします。  
■個人10万円以上、法人・団体30万円以上寄附された方  
感謝状と記念品の贈呈／銘板による顕彰  
(ご芳名の銘板を学内に掲示し、未永く顕彰いたします。)  
詳しくは、香川大学支援基金HPから  
<https://www.kagawa-u.ac.jp/kikin/>



第7回 香川大学フォトコンテスト  
Photo Contest 2022  
Part 2  
作品募集



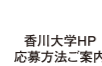
香川大学内を撮影して  
Instagramで投稿しよう！  
テーマは「香川大学の魅力を伝える写真」  
被写体は風景、建物、人物、サークル・部活動の様子等、何でもOK。ただし、個人が特定される人物が含まれる場合、必ずご本人(被写体)の承諾を得た上で応募してください。応募者本人が撮影した、未発表の作品に限ります。

募集期間 2022.12.1(木) ▶ 2023.2.28(火)

応募資格 香川大学生、卒業生、教職員など、どなたでもご参加いただけます。

問い合わせ先

香川大学広報室  
TEL 087-832-1027  
Email kouhou-h@kagawa-u.ac.jp



かがアド  
読者アンケートプレゼント

読者の皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。  
いただいたアンケート内容は今後の誌面づくりに活用させていただきます。



アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で

どちらか選べる  
香川大オリジナル  
キャンパスバッグを  
3名様にプレゼント

OR  
香川大オリジナル  
ネクタイピンを  
2名様にプレゼント  
応募締切 2023年7月31日



NEXT STAGE  
香川大学 NEXT STAGE

香川大学のキーパーソンへのインタビューを通じて、香川大学の今そして未来を様々な視点からお伝えしています。これからの時代に必要「思考」と「能力」を学ぶ、地域の「知の拠点」として、変革を続けている香川大学にご期待ください。今号に登場する方にも、番組に出演された方がいらっしゃいます。QRコードからぜひご視聴ください。



FM香川

I ♥ RADIO 786



NHK高松 大学セミナーin香川大学「地域の魅力を発信する」を開催

令和4年6月29日、香川大学で、NHK「プラタモリ」のチーフプロデューサー亀山暁氏を招いて「地域の魅力を発信する」というテーマでNHK大学セミナーを開催し、対面とオンラインで260名以上が受講しました。令和4年の2月、3月に放送されたプラタモリで高松と小豆島の魅力が紹介されました。セミナー前半では亀山氏が、地域の魅力を発信するためには何が番組作りには欠かせないか、後半は、番組の案内人となった長谷川修一特任教授・名誉教授と西成典久教授も交え、放送されなかったエピソードなど、テレビ制作の裏話を聞くことができ、会場は大いに盛り上がりました。質疑応答では立て続けに手が挙がり、とても充実したセミナーとなりました。

福井県大野市と連携協定を締結

令和4年10月27日、香川大学と福井県大野市は連携協定を締結しました。本協定は、水循環の研究、地域の発展と人材育成等に寄与することを目的としたものです。大野市は、周囲を1000m級の山々に囲まれたその地形から豊富な地下水に恵まれており、市民は井戸水を飲料に用いるなど古くから水と共生する湧水文化を育んできました。しかし近年、地下水位の低下や湧水量減少の対策が課題となっており、香川大学は、2015年から大野市において、地下水モニタリングに関する研究を推進するとともに、水循環に関する市民向けの講座実施に協力してきました。本協定により、大野市への貢献はもとより、香川県域における水循環や環境の保全に有益な知見をもたらすことが期待されます。



「Kagawa Expo 2022 in MARUTASU」を開催

令和4年11月19日、20日の2日間、丸亀市の市民交流活動センター「マルタス」でKagawa Expo 2022が開催されました。主催した香川大学瀬戸内地域活性化プロジェクトは、普段は観音寺、善通寺、丸亀、さぬき、まんのう、東かがわの6班それぞれで地域活性化を目的に活動しています。その「点」の活動を、この企画を通して「線」で結び、香川県全体の魅力を発信したいと考え、本イベントを開催しました。丸亀市内外から多くの来場があり、1日目の地域の名産品にスポットを当てたワークショップと香川県の魅力溢れる2日目のマルシェを通して、来場された方から、新しい香川の魅力が知れて良かったという声を頂くとともに、学生もこのイベントを通して香川の魅力をより知ることができました。



「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム  
四国ブロックキックオフシンポジウム」を開催

令和4年10月7日、「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックキックオフシンポジウム」をJRホテルクレメント高松において開催しました。香川大学は文部科学省から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」に認定されており、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムの四国ブロック代表校として先進的に教育体制の構築や普及、人材育成を牽引しています。本シンポジウムは、四国ブロックにおける活動内容の周知と産官学ネットワークの形成及び情報交換を目的とし、四国経済産業局の後援で香川大学が主催し、対面とオンラインで、四国内の大学、企業関係者114名が出席しました。本シンポジウムにより、数理・データサイエンス・AI教育やDX推進に関する認知が深まり、今後の事業推進や交流が期待できるものとなりました。



若井教授が令和4年度香川県文化功労者に選出されました

令和4年11月3日、教育学部の若井健司教授が令和4年度香川県文化功労者に選出されました。香川県文化功労者の表彰は香川県における文化芸術または学術の振興について極めて優れた功績のある者を表彰するものです。若井教授は、長年にわたり声楽家として国内外で演奏を行うとともに、県内の文化振興における要職を歴任。舞台芸術の人材育成事業において中心的な役割を担い、四国における声楽分野の統括団体である四国二期会の理事長としても、オペラ、声楽コンサートの事業活動を牽引するなど、多岐に渡る功績が香川県の文化芸術の振興に寄与したと高く評価されました。



## 香川から夢の糖 世界に羽ばたく 希少糖

**希少糖とは?** その名のとおり希少な糖。自然界にごくわずかしかな存在しない糖ですが、種類は多く約50種類も存在することがわかっています。

**無限の可能性!** 香川大学が、世界で初めてすべての希少糖の生産方法を確立。「これまでの糖の常識をくつがえす」さまざまな作用が明らかになりました。食品をはじめとして、医薬、工業、化学、植物分野に至るまで、現在も多様な研究が進められています。

**希少糖「アルロース(ブシコース)」のはたらき**

- 1 カロリーゼロ
- 2 食後血糖の上昇をゆるやかに
- 3 動脈硬化になりにくい
- 4 脂肪燃焼の促進
- 5 虫歯になりにくい
- 6 抗酸化性が高まる

※アルロースはブシコースと呼ばれることもあります。

いい糖  
**11月10日は  
希少糖の日**

一般社団法人 希少糖普及協会  
香川県高松市番町1-2-19 安西ビル4階  
TEL(087)814-3333 FAX(087)802-1755




## あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

高松支店  
〒760-0042 香川県高松市大工町 1-1 ☎087-822-6901



最終合格 目指すなら 東アカで決まり!

**公務員 2021 合格実績 2,869名**

**教員 2021 合格実績 4,396名**

香川大学 公務員併願受験奨励生 -2021 年度-

**合格率 93.5%** 合格者メッセージ 随時更新中!

※香川大学経済学部および法学部の高松校受講生合格率

高松校、合格者からのメッセージ

東京アカデミー 高松校

募集 公務員併願受験奨励生 / 教員香川県型対策講座 ☎0120220731

実施 個別相談会▶11:00~18:00 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー 11F

# RICOH

リコージャパン株式会社 香川支社

# はじめまして 三村鉄工です

当社は香川県さぬき市で『油圧シリンダ』を専門に作ってる会社です

いい製品とは、お客様が **どうしても欲しい** と思うもの

工場内のトイレは **ホテルよりきれい**

与えられた **仕事をまじめに** することで、本当にいい製品が生まれる

無骨だけど **スタイリッシュで 無駄がない** 現場と製品

お客様と **対話し、提案し** 新しい製品は生まれる

代表取締役社長 三村 勇雄

現場で働く社員さん **一人ひとりの頑張り** が、いい製品を作り上げる

整理・整頓 清掃・清潔・躰の **5Sを 愚直** に実行

いい環境が **いい人をつくる** いい人が **いい製品をつくる**

5S は仕事の 原点

トップは **毎日現場** に足を運び、自らが言った 規範を示す

就職活動中の学生さんには三村鉄工を正しく知っていただき入社してほしいです。ホームページ & You Tube動画&会社案内を作成し、私たちの会社情報をたくさん伝えるようにしています。県内の採用イベントにも積極的に参加しています。インターンシップ(通年)も随時受付中です。ホームページもしくはお電話からお申し込みください!

You Tubeでも 情報発信中

公式HPは こちらから




**三村鉄工株式会社** 香川県さぬき市末371番地6(志度末工業団地内)  
TEL:087-894-7788(代) FAX:087-894-7088  
https://www.mimura-iron.co.jp

